

氏名	佐治 由美子 SAJI Yumiko
所属 職名	人間発達教育研究センター 講師
学位 専門分野	修士(家政学、お茶の水女子大学、1982) 保育学
URL	
E-mail	saji.yumiko@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

保育
省察
保育実践研究
保育事例研究
保育者養成

Hoiku
Reflection
Action Research of Children's Activities
Case Study of Children's Activities with Carer
Nurturing Students for Childcarer

主要業績

- ・倉橋特集4〈インタビュー〉「生活を生活で生活へ」さながらの生活と教育、堀合文子・佐治由美子、幼児の教育109-4、フレーベル館、pp12-19
- ・学内シンポジウム「保育者と協働して学生を育てる」を振り返って(1)、佐治由美子、幼児の教育109-5 お茶の水女子大学「幼・保・大」連携保育研究の試み(41)、フレーベル館、pp58-63 学内シンポジウム「保育者と協働して学生を育てる」を振り返って(2)、佐治由美子、幼児の教育109-6 お茶の水女子大学「幼・保・大」連携保育研究の試み(42)、フレーベル館、pp58-63
- ・倉橋特集8〈論考〉「いきいきしさ」を保育体験から考える、佐治由美子、幼児の教育109-9、フレーベル館、pp20-25
- ・倉橋特集9〈解説〉水の流るるがごとく風のゆくがごとく、佐治由美子、幼児の教育109-10、フレーベル館、pp9-11
- ・創刊110年企画アーカイブズ集1 倉橋惣三の「省察」に学ぶ、佐治由美子、幼児の教育110-1、フレーベル館、pp14-53

研究内容 / Research Pursuits

平成22年度は、「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築(ECCCELL)」の初年度であった(特別研究経費事業として6カ年計画)。・大学と附属幼稚園・附属保育所(いずみナーサリー)との協働によるカリキュラム開発として、学部の専門科目「保育臨床実習」の定着を図るため、現場との連携を密に行った。・学部の専門科目「発達臨床特別実習(インターンシップ)」を担当し、学生の実習内容の振り返りを複数名いる担当教員と共に丁寧に行った。・平成20年度にスタートした附属学校園の連携研究に大学から関与する立場として、「環境グループ」のオブザーバーの役を務めた(22年度は最終年度)。・本学の院生を中心として、外部の学生や研究者、保育実践者と共に、自主ゼミの形式でいくつかの研究を並行して行った(保育土曜ゼミ、ドゥルーズ・ゼミ、ロジャーズ・ゼミ)。

■ 教育内容 / Educational Pursuits

・保育臨床実習 附属幼稚園・附属いずみナーサリー・その他外部の施設の協力を得て、子どもの生活を観察し、話し合い、記録する中で、履修者が子どもを知り、保育理解を進めることを目指す。また、現場の保育者との話し合いも設定し、保育を実地に近いところで学ぶ機会を重視する。平成22年度は、近年社会に拡がりを見せている子育て支援施設に実習の場を拡大し、履修者の好評を得た。・発達臨床特別実習? 附属幼稚園・附属いずみナーサリー・愛育養護学校・その他文京区公立幼稚園の現場に実習生として通年の受け入れをお願いし、大学ではその履修者を一斉に集め定期的に振り返りを行った。・保育内容 健康 幼稚園教育要領における健康領域を、子ども自ら関わる環境を保育者が構成していく際の視点と捉え、保育者自身が環境を構成する一要素とするならば、保育者の身体が子どもの前にどのように表されるかが大きな意味をもつことになる。授業では、子どもの身体に応答する大人の身体について、事例を通して考察した。

■ 研究計画

■ メッセージ

お茶の水女子大学には、日本最古の幼稚園である附属幼稚園と日本の国立大学初の附属保育所であるいずみナーサリーが同じ敷地内にあります。大学キャンパス内で学生が日常的に子どもと行き交う場面があるだけでなく、希望すれば、保育を専門としない学生でもボランティアとして保育に参加する機会がナーサリーによって保障されています。子どもの存在を通して「子ども」という思想に触れ、人間についての学びへと開かれていくカリキュラムも用意されています。子どもに関心のある方は、是非一緒に学びましょう。卒業後、保育や教育の現場に就職しなくても、間接的にでも子ども大人がと共生していく社会の実現に力を発揮される方が、この大学から巣立っていかれることを期待しています。